

# ささえあいミーティング


行 田 市  
行田市社会福祉協議会





# 本日のミーティングの内容

- 1 地域安心ふれあい事業について
- 2 行田市災害時要援護者支援対策について
- 3 支えあいマップづくりについて
- 4 グループワーク  
(自治会毎にマップづくり)
- 5 まとめ



# 平成20年度ささえあいミーティング の結果について

## 〈課 題〉

- 1 地域内のコミュニケーションや交流の活性化
- 2 地域活動の活性化
- 3 地域活動の連携強化
- 4 ボランティア活動の活性化
- 5 地域交流拠点の整備
- 6 住みよいまちづくりの推進
- 7 安心・安全のまちづくりの推進

# 地域福祉計画及び地域福祉活動計画について

住民参加の地域づくり  
(市民の連携と協働による)

地域福祉計画  
(行田市)

- ・ 人にやさしい  
まちづくりの推進
- ・ 地域福祉活動への  
住民参加の促進
- ・ 福祉サービスの充実
- ・ 福祉サービスの  
適切な利用の促進

連  
携

地域福祉活動計画  
(行田市社会福祉協議会)

- ・ 「人」と「人」のつながり
- ・ 「地域」みんなで課題を共有し、  
解決する
- ・ 「人」を大切にする「人」を  
つくる

# 地域福祉を推進するために

## 地域づくり

ささえあいミーティング(小学校区ごとに市民と行政、社会福祉協議会が、ともに地域課題について話し合い、情報共有する場)

## 仕組みづくり

市役所に「ふくし総合窓口」を設置(縦割り行政の不都合を解消して市民の相談に総合的に対応できる仕組み)

地域ごとの個性を尊重した支えあい、助け合いの仕組みづくり

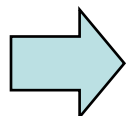
## 人づくり

市民同士の支えあいの担い手となるいきいき・元気サポーターを養成、登録(地域安心ふれあい事業を中心とするボランティア活動で活躍していただく)

地域安心ふれあい事業

# 地域安心いふれあい事業

少子高齢化  
一人暮らし世帯増加  
家族や地域のつながりの希薄化



支援を必要とする人の増加  
・地域で孤立している高齢者  
・家族の介護で悩んでいる・・・など

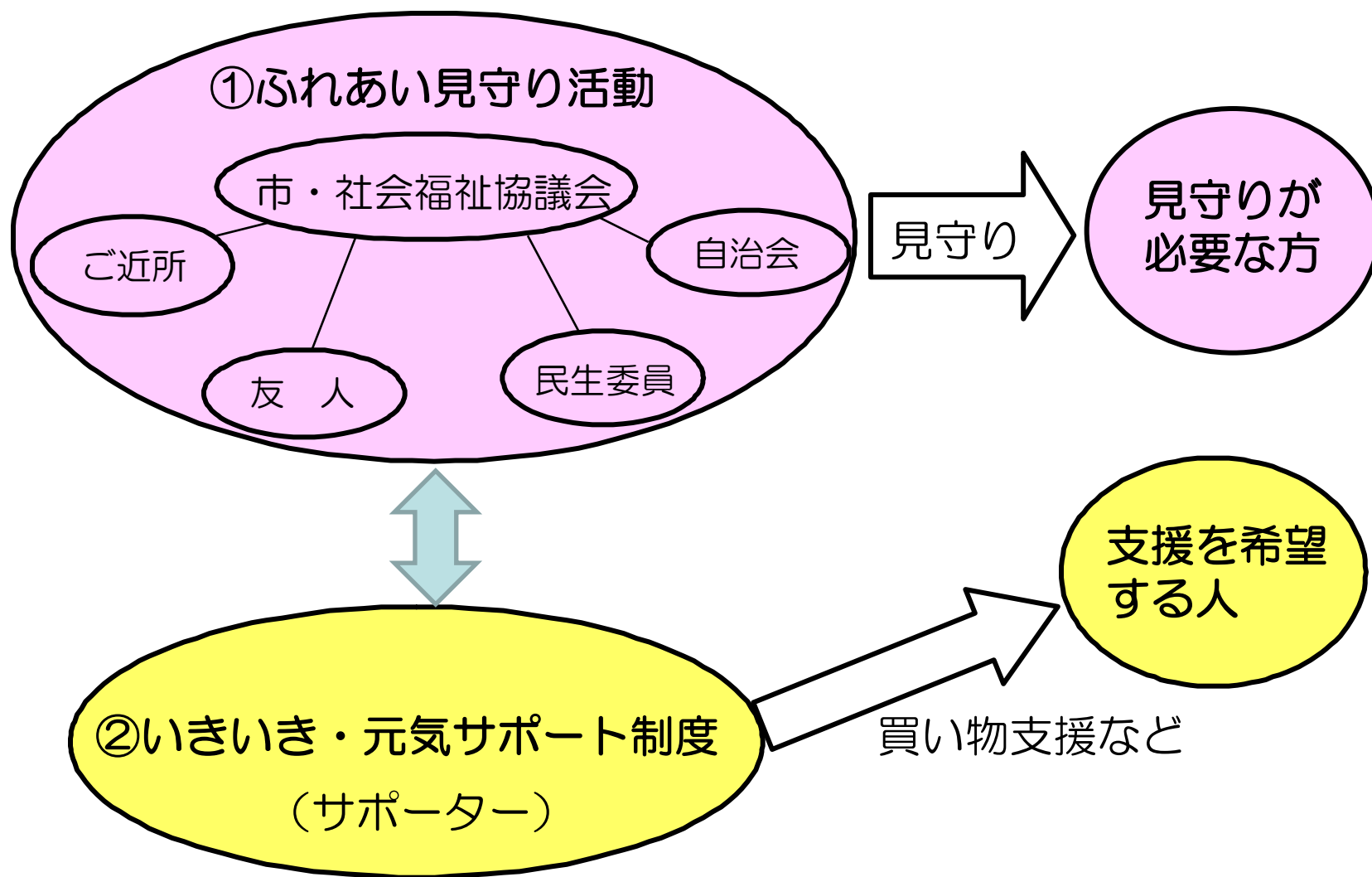
- ・ 公的な福祉サービスだけで解決することは難しい。
- ・ 市民と行政がともに手を取り、地域のさまざまな課題を解決していく必要がある。

そこで・・・

- ・ 市では、新たな支えあいのしくみづくりをスタートしました。
- ・ この取り組みが「地域福祉推進市」として国から指定を受け、今後、国のモデル事業として、市民の皆さんとともに誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めてまいります。

ご理解と積極的なご参加をお願いします。

# 地域安心ふれあい事業





# 行田市いきいき・元気サポーター

- 平成22年6月末現在 登録者数 **103名**
- 平成22年1～6月までの活動総時間数 **382時間**

ささえあうために  
ボランティア活動に理解と意欲のある  
「行田市いきいき・元気サポーターの活力」を  
「地域」は必要としています。



地域に密着し活躍する  
行田市いきいき・元気サポーターへ



# 災害時避難行動要支援者とは

- ① 身体障害者の方(1級と2級手帳の所有者)
- ② 知的障害者の方(療育手帳A以上の所有者)
- ③ 介護保険の要介護3以上の認定を受け、居宅で生活している方
- ④ 一人暮らしの高齢者又は高齢者のみの世帯で、自力避難が困難な方
- ⑤ ①～④に掲げた方に準じた状態にある方

## これまでの市の取組み

～地域支援者との連携を考えて～

平成19年4月から登録制度を発足 本人の手上げ方式

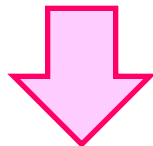
平成21年度から個人への同意を働きかける同意方式も併用

平成22年度から関係機関情報共有方式を併せて推進

(福祉部局・防災部局・自治会・民生児童委員)

# 災害時避難行動要支援者対策 ～これからの地域での取組み～

## マップを作る



避難支援者の特定  
避難場所の特定

日常生活では

孤独死防止  
安心生活確保

災害時の活動では

地域防災力の向上  
被害縮小

# 支えあいの地域づくりのために

『弱まっている』

『希薄になっている』

『限界がある』

自助  
(自己責任)

共助  
(支えあい)

公助  
(公的サービス)

『助けてと言えない』

課題解決に向けて

『隙間が生まれる』

知る・知り合う

支えあう

見守る

つどう

知る・知り合う  
『地域を知る』  
『支えあいマップ』

見守る  
『見守り活動』  
『登下校の見守り』

つどう  
『地域のまつり』  
『いきいきサロン』

支える  
『いきいき・元気  
サポーター制度』

# 「支えあいマップづくり」

地域での見守り、声かけ、災害時の助けあい活動のために地域の情報を共有。

○進め方（住宅地図に色や印をつけていきます）

- ・ 助けを必要としている人はいませんか？  
（単身高齢者、高齢者世帯、障害者等）
- ・ 地域で気になる人はいませんか？
- ・ 地域で人の集まる場所はないですか？
- ・ 支援（活動）をしている人はいませんか？

出来上がったマップを確認し、地域の課題を明らかにし、解決に向けて話し合います。

# 支えあいマップ (例)



# 「日常の支えあい」を 「災害時の助けあい」に

